

田中まどかの市議会通信

vol.28

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会）2023. 1. 15 発行



本年もブレずに
誠意をもって
取り組んでまいります



2022年12月議会 重要な条例の改廃

12月議会に上程されたすべての議案が可決されました。
私は補正予算と5つの条例に反対しました。

職員の定年を65歳に延長する条例には質疑した上で賛成

地方公務員法の改正により、**現在60歳の定年を65歳**に段階的に（令和13年まで2年に1歳ずつ）引き上げます。これにより、年金支給開始年齢まで働けますが、組織の新陳代謝が滞り、新卒採用に影響するのではないかとこの質疑に、市は定員管理計画に基づき計画的に採用すると答弁しました。

60歳になると管理職は主査級に降任し、給料も7割水準になりますが、意欲を下げることなく、職務経験を活かし、人材育成と市民サービスの向上に寄与していただきたいと思えます。

一般質問 投票率の向上を

4月に県議選と市議選があります。民意を正しく県政・市政に反映させるためには、投票率の低い**若者と子育て世代の関心を高めること、高齢者の投票所へのアクセスを支援することが必要**です。

先進自治体を参考に、市選挙管理委員会は、投票率向上に積極的に取り組んでほしいと思えます。国も、大量のポイントをつけ、どこへでも手続き所を設けるマイナンバーカードの予算を、ぜひとも期日前投票所の増設費用に回していただきたいものです。

個人情報保護条例の廃止とそれに伴う新条例等に反対

個人情報保護制度が国によって統一化されたことにより、日高市独自の**個人情報保護条例は廃止**になり、新しく「法律施行条例」が制定されますが、保護の理念などは書いてありません。審議会の役割を著しく縮小する「情報公開・個人情報保護審査会条例」の一部改正と共に反対しました。

市に反対を訴えても仕方ないのはわかっていますが、これを通してしまうことは、個人情報の**保護よりも利活用**に重きを置きたい国の政策や、**地方自治をないがしろにする国のやり方**を良しとしてしまうこととなります。

私の反対討論など、詳しくはこちらをご覧ください →



一般質問 消費者被害防止

市役所3階に消費生活相談センターがあり、専門員が助言やあっせんを行っています。

相談数は年間約200件。高齢者からのリフォーム等の「契約・解約」、通信販売についての相談が多く、若年層の被害も増加傾向です。靈感商法などの被害は今のところ無いそうです。

高齢化に伴って、**消費生活行政と福祉部門の連携が重要**になります。市は「日高市消費者安全確保地域協議会」を組織し、民間事業者とも連携して被害防止、見守り、早期解決を図っています。

市職員・市長・副市長・教育長の給料増額には賛成 特別職の期末手当アップとその人件費を含む補正予算に反対

人事院勧告に基づき市職員の給料と勤勉手当を上げるという条例改正には賛成しました。

また、26年間変えていない市長・副市長・教育長の給料を、特別職報酬等審議会から「増額すべき」との答申を得た上で改訂することに異論はありません。

しかし、特別職（市長・副市長・教育長・議員）の期末手当については、物価高騰により市民生活が苦しくなる中で、審議会に諮らずに上げることに賛成はできません。こういう状況の時こそ**第三者の目を入れるべき**です。

総合福祉センター 高麗の郷 指定管理者の選定は厳格に！

高麗の郷は重要な施設であるため、その指定管理者の指定には、事前に仕様書や事業計画を情報公開請求して臨みました。

候補者は**原則公募なのに非公募**としたうえ、非公募を決めた**選定委員会の議事録は作成されていません**でした。選定委員による評価点の合計は基準の70%を乗り越えて73%。改善の余地が多くあると思われます。

しかし、現在と同じ社会福祉協議会に指定するのが現実的であることは私も認識しているため、音声記録から議事録を作成するという答弁を得た上で賛成しました。選定は厳格にすべきです。

ひだか 子どもみらい通信 vol.24

☆知って、考えたい子どもの未来☆

身体障がい児の放課後や長期休み、どうすれば…？

障がいのあるお子さんの放課後や長期休みの居場所として、「放課後等デイサービス（放デイ）」（国の事業）がありますが、市内と近隣市町合わせて130か所ある事業所のうち、バリアフリー化されていないなどの理由で、**身体障がい児が利用できる場所は9か所しかありません。**

そこで、ご家族の就労支援や休息のために障がい児（者）を預かる「日中一時支援事業」が受け皿になっている場合があります。しかし日中一時支援事業は市町村事業で、報酬単価は下の表のように非常に低く、しかも**日高市は送迎加算を付けていない**ため事業者は採算が取れず、送迎をしてあげたくてもできない現状があります。近隣市町では送迎加算をつけています。

せめて放デイ並み（往復で1080円程度）の送迎加算を付けられないのでしょうか。

市の答弁は、①市の事業である日中一時支援を手厚くすると、法定サービスである放デイの利用が阻害される。②加算をつけている市町では1割程度の利用料負担があるが、日高市は利用料が無料。③近隣市町の加算額は往復で108円から1,840円と幅がある。④これらを踏まえ、利用者の利便性、公平性、近隣市町の状況を考えて制度設計する必要がある。というものでした。

利用料1割を払っても送迎をしてほしい家庭もあれば、送迎を必要としない利用者にとっては利用料分が新たな負担となり、報酬をあげれば利用料負担額も増えてしまう…。難しい問題ですが、実際に今困っているご家庭があります。特別支援学校の保護者からも毎年要望が出されています。**検討している間に子どもは成長してしまいます。**市町村事業だからこそ、一人ひとりに合わせた、きめ細かい対応はできないのでしょうか。

日中一時支援 市から事業者への補助額

区分（支援の度合い）	利用時間と金額	
	4時間未満	4時間以上
区分3	1,890円	3,790円
区分2	1,480円	2,970円
区分1	1,230円	2,450円



12月議会 補正予算 学校関連予算

高萩北中学校大規模改修工事 約3億8,000万円

築36年を超えた校舎の長寿命化として、4年度は普通教室棟を約4億円で改修しましたが、5年度は特別教室棟とプールの改修が行われます。外壁、トイレ、床、壁、LED化などの工事費用約3億8,000万円が計上されました。

財源は、国の交付金約5,700万円、市債約2億5,400万円、公共施設整備基金約6,700万円となっています。

高萩中学校バリアフリー化工事 約4,800万円

車いすを利用する生徒の6年度入学に合わせ、校舎内をバリアフリー化。

高萩小学校プール解体工事など 約5,800万円

小学校のプールは廃止し、中学校のプールを使います。撤去跡には大型遊具を設置する予定。

国は、防衛費倍増より子ども・子育てのための予算を！

防衛費倍増のための5兆円があれば、小中学校の給食費無償化、高校の完全無償化、大学の無償化、子ども手当の所得制限撤廃をしてもおつりがきます。「異次元」じゃなくていいので、「本気で」少子化対策予算を！！

連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2

ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>

メールアドレス：madoromi29@hanno.jp

お気軽にご連絡、ご意見、ご相談ください。

TEL 090-9003-7344

FAX はありません

ブログ



フェイスブック

